



# ソウル駐在員通信

vol.13

クレアソウル事務所 所長補佐 飯村恵理子

## ソウルでも茨城の話題で盛り上がる！茨城県人会

안녕하세요(アンニョンハセヨ)！クレアソウル事務所の飯村です。

ソウルへ赴任して1年と約2ヶ月が過ぎました。4月は友人と近所の桜並木を見に出かけ、ソウルの春を満喫してきました。事務所では、昨年度お世話になった先輩方が帰国され、入れ替わりで新しい職員が赴任してきました。心機一転、残りの任期を悔いなく過ごして行きたいと思います。



漢江沿いの桜並木

さて、今回は5月20日に行われた「茨城県人会」の様子をご紹介します。

日本でも、茨城県以外の地域において、茨城県出身の方を始めとしたゆかりの方々を集めた県人会が開催されていることと思います。ここソウルでも、出身者や居住経験者、家族や親戚が住んでいる方などを中心に、「茨城県人会」を結成しています。

通常、2ヶ月に1度くらいのペースで県人会を開催し、会員同士の親睦を深めています。会員は主に日本からの駐在者、派遣者ですが、中には以前県内の大学への留学や、県内の企業に勤務していたことのある韓国人の方もいらっしゃいます。

私の前任がソウル駐在中に立ち上げ、7月で2年になります。昨年度から私が幹事を務めていますが、会員の皆様の暖かいご支援のおかげで、毎回20名前後の会員が集まり楽しい時間を共有させていただいています。

今回の県人会は、スペシャル企画として千葉県人会と合同で開催しました。その名も「ちばらき県人会」！

当日は、両県併せてなんと 50 人を超える参加者が集まりました。全員で一言ずつ自己紹介を行い、親睦を深めたあと、両県にまつわるクイズ大会を行い、白熱の末、見事全問正解された方にはプレゼントを贈呈しました。

ちなみに、茨城県に関するクイズでは、それぞれ 3 択で「つくばエクスプレス」の名前を当てる問題、利根川に接していない市町村名を当てる問題を出題しましたが、後者は難しかったようで、多くの脱落者が出てしまいました…。



(会場の様子)

初の合同県人会でしたが、あらたに茨城県にゆかりのある方を見つけることができたり、お互いのローカルトークに花を咲かせることができたりと、実りの多い会であったと思います。今後は、半年に一度くらいこの合同県人会を開催していこうと、盛会のうちに第 1 回ちばらき県人会を閉会しました。

異国の地においてもご活躍されている茨城県ゆかりの方々と過ごす時間はとても刺激的で、茨城愛にあふれた方々が韓国にもたくさんいるんだな、ということを感じると、私も頑張ろうという元気が湧いてきます。

今後は、韓国で茨城県を PR する機会等には積極的に県人会の方々に声をかけ、一緒に PR していただくなど、活動の幅を広げていければと思います。